

長生きで、強くて、温厚で。



## アジアゾウ 哺乳類ゾウ目ゾウ科 *Elephas maximus*

体長は 500～640 cm。体重は 3,000～5,000kg。  
アフリカゾウより小柄で、南アジア・東南アジアに分布する。  
森林や草原、二次林や雑木林などに生息する。  
食用として狩りの対象になっていた頃もあるが、近年では  
象牙を目的とした密漁などがあり、生息数が減少している。

©eddy

## ゾウはガンにかかりにくい!?

2015年10月、米国医師会雑誌に興味深い研究結果が掲載されました。長い間、「ゾウはその大きい体にもかかわらず、ガンになることがほとんどない」ということが謎とされていたのですが、それが明らかになったというのです。研究結果によると、ゾウはガンが作られるのを抑える遺伝子のコピーをたくさん持っていることがわかりました。このような研究結果がヒト医療にも生かされるといいですね。

今回は、そのゾウについてご紹介しましょう。体の大きさは陸生の哺乳類では最大で、長い鼻が特徴的。この長い鼻は、食べ物を口に運んだり、水浴びをするときに役立ちます。この鼻、先端に指のような突起があり、米粒のような小さいものもつかむことができます。また、ゾウの足の裏はとても繊細で、足の裏で受けた刺激が耳まで伝達されます。この機能によって、30～40kmも離れた場所の音も捕らえることができます。

ゾウの寿命はおよそ70年程度といわれていますが、人間を除く陸上の哺乳類の中ではもっとも長寿です。日本では、タイから戦後初めてやってきたゾウのはな子（井の頭自然文化園）が69歳で最高齢でした。

## 子どもを守る強き大人たち

現生しているのは、アジアゾウ、アフリカゾウの2種で、この2種は耳の形状で見分けができます。アジアゾウの耳は小さくて四角形、アフリカゾウの耳は肩にかかるほど大きくて三角形です。アジアゾウのほうがアフリカゾウよりも温厚で人に慣れやすいと言われており、使役動物として使われるのは主にアジアゾウでした。ちなみに、前述の井の頭自然文化園のはな子もアジアゾウです。

アジアゾウの多くは15～20頭程度の群れで生活しています。この群れは雌とその子どもたちから成り立っており、リーダーは年長の雌です。いわゆる「肝っ玉かあさん」といったところでしょうか。大人の雄は単独で行動していて、発情時だけ群れに加わります。体が大きいので、成獣のアジアゾウが襲われることはほとんどありませんが、幼獣はトラやライオンに襲われることがあります。そのときは周りのゾウが敵を取り囲んで弱いものを守ります。「弱きを助け、強きを挫く。」正義の精神、見習いたいものですね。

(5月26日、ゾウのはな子さんが天国へ旅立ちました。享年69歳。ご冥福をお祈りいたします。)